

# 浜長保険センター安全だより

令和6年10月10日  
浜長保険センター 第94号  
電話 079-246-2561  
FAX 079-246-2571



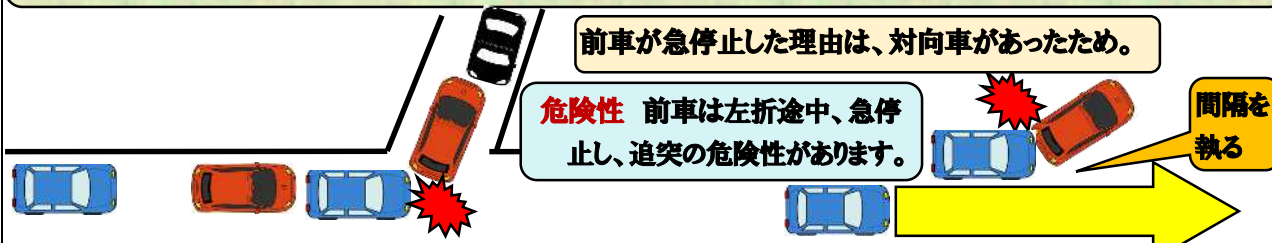
スポーツの秋、実りの秋、味覚の秋、芸術の秋、暑くもなく寒くもない快適な秋を迎えました。街路樹の木々の葉も色づきはじめ、庭の菊の花が香り、虫の音に秋の深まりを感じる頃になりました。寒暖の差が激しい季節柄、くれぐれもご自愛ください。



風光明媚な海岸沿いの道路、雄大で自然豊かな中にあるスカイラインのドライブは快適であります。自動車の運転は、快適な反面、一歩間違えば、危険な行為でもあります。安全快適なドライブを継続するためには、刻々と変化する環境に応じて、どのような危険を予測し、予測した危険に対してどのような回避措置を執るか、前回、説明させていただきました。今回も具体的な事例を上げながら、危険の先読みと回避措置について、説明をしたいと思います。安全運転の参考にして頂ければ幸いです。

## 事例1

**追突事故防止**～前車が狭い路地へ左折していたので、そのまま前進すると思い、接近しながら追従していたところ、左折途中、急に停止した。あわてて急ブレーキを掛けたが間に合わず追突した。原因は、車間距離を保っていなかった。



前車が急停止した理由は、対向車があったため。

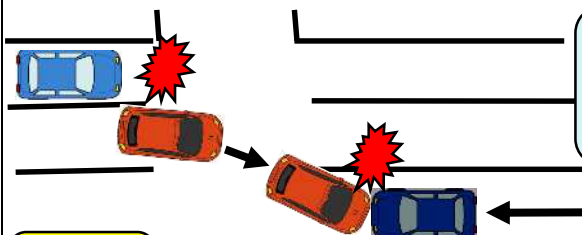
**危険性** 前車は左折途中、急停止し、追突の危険性があります。

間隔を執る

**対策** 前車が急停止しても、追突しない車間距離を保持することが原則ですが、前車が急停止しても、追突を避けることができるよう前車と自車が一部でも重ならないコースを執りましょう。

## 事例2

**右折時、対向車との正面衝突事故防止**～右折時、ハンドルを大きく右に切った状態で停止していたとき、後方から来た自動車に追突され、その弾みで前方に押し出され、対向車と正面衝突した。

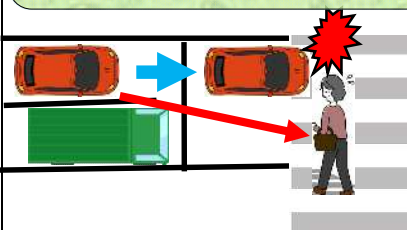


**危険性** 右折時、ハンドルを右に大きく切った状態で停止中に追突された場合、対向車線に押し出され、衝撃力が大きい正面衝突の危険性があります。

**対策** 追突されても対向車線に押し出されないようハンドルを大きく切らないようにしましょう。

## 事例3

**青信号発進時の歩行者との事故防止**～赤信号待ち後、青信号になった。右側車線の大型トラックが発進しなかったが、青信号になったので発進したとき、右から左に横断していた歩行者と衝突した。



**危険性** 対面の信号が青になっても、右側の大型トラックが発進しない時は、歩行速度が遅い横断者と衝突の危険性があります。

**対策** 大型トラックなどが停止していた場合、死角となり左右の状況が確認できません。歩行が遅い横断者がいると予測し、隣のトラックが発進し、安全確認が可能になってから発進しましょう。

